

放射線治療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 骨盤部腫瘍への強度変調放射線治療(IMRT)と陽子線治療との線量分布における比較検討

[研究機関] 北海道大学病院放射線治療科

[研究責任者] 小野寺 俊輔（医学研究科放射線医学分野・特任助教）

[研究の目的]

婦人科腫瘍をはじめとする骨盤内腫瘍に対して、近年、強度変調放射線治療(Intensity Modulated Radiotherapy 以下 IMRT)を用いることによって、放射線治療による腸や血液の副作用を軽減できるようになってきていますが、当院ではまだあまり行われておらず、現時点で IMRT を用いた症例でどの程度の放射線による副作用が出現しているのかについて検討を行う必要があります。

また、2014 年度以降から順次開始となる陽子線治療によって、腸や他の重要臓器への放射線線量がどのようになるのかについても重要な検討課題です。

これらの点について、これまで当院において、骨盤内腫瘍に対して IMRT を用いて放射線治療を行った症例について、その臨床症状と臨床経過について検討を行い、さらにそれらの症例において陽子線治療を行った場合にどの程度余分な放射線を減らせるかについて、検討を行うことが今回の研究の目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

婦人科腫瘍および骨盤内腫瘍を有する患者さんで、平成 21 年 1 月 1 日から平成 25 年 8 月 1 日の間に当科で骨盤内 IMRT の治療を受けた方ならびに同時期において 3 次元照射を行った症例

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、現病歴、既往歴、合併症、内服薬、生活歴、家族歴
- ②診断名、病期分類、病理組織、初発時画像所見、採血結果
- ③放射線治療前の治療有無、内容
- ④治療中の評価

⑤放射線治療計画の比較・検討

⑥照射後経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線治療科 担当医師 小野寺 俊輔

電話 011-706-5977 FAX 011-706-7876